



さとう しゅうじ
佐藤修孝
(政凜会)

● ILC候補地として16年前に描いた
シンフォニーランド構想を具体化すべき

質問

ILCの仮配置案が東北

大学の佐貫准教授から設置候補地の伊手、米里で説明会があつた。仮の中心点は大東町の大原付近という設定で、詳細な地質調査をするという事である。今

日までの地質調査結果をみると、

北の方に比較して南が弱いと報

告されている。当初設定された

中心点より10kmも南にスライド

したのは何故なのか疑問である。

大事なポイントは県に確認すべ

きではないか。

市長

基本的にILC計画は東

北全域に関わる世界的事業であ

り、一自治体が口を挟む内容

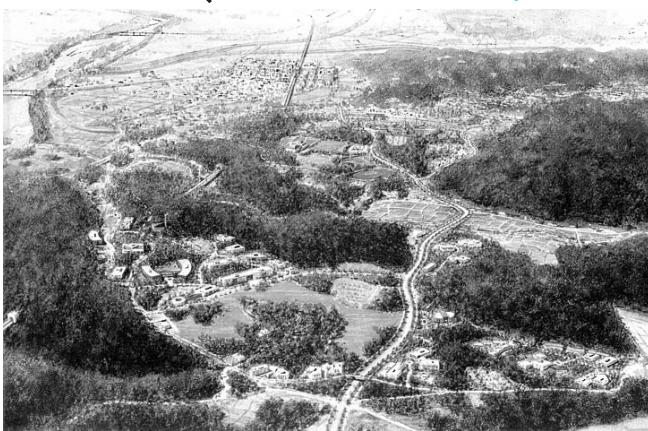
ではなく、あくまで科学的に

決定するものと認識している。

しかし、疑問点は県に確認し

たい。

質問 中核研究拠点や交流居
住地区のエリアは、県でグラ
ンドデザインを策定するとし
ているが、かつて合併前の水
沢市でILCの誘致を見据え、
用地を取得して構想を描いた
経過があると聞いているが、
その内容は。



ILC受け入れ候補地として16年前に描いた羽田・黒石をエリアとした学術文化都市構想

をエリアとした、シンフォニーランドと称する学術文化都市構想があつた。しかし、あくまで立地は学術的にふさわしい場所という観点から誘致活動は前面に出せないという状況があつた。

質問 現時点は、誘致活動の段階であり、県や一関市、そして経済界も誘致活動をしている。わが市も一緒に活動に力を入れるべきでは。

市長 中学生のつくば学園都市への派遣等も長い間継続している。できる事は最大限行う。

質問

10月末に「いじめ、不登

校に対して他分野連携で学校支援をする」問題行動等対策実行委員会が発足し期待感が膨らんだ。その内容と問題解決に向けた手立ては。

教育委員長 当実行委員会は、

不登校問題のみならずさまざま

な学校不適応問題に対応し、学

校や家庭に対する支援を目的と

して設置した。福祉の家庭相談

員が各学校に出向いて情報を得

しながら家庭訪問を行っている。

関係機関と連携しさらに充実を

図っていきたい。

- 問題行動等対策実行委員会に期待される効果は？
- 準要保護家庭にもクラブ活動費、生徒会費、PTA会費を支給すべき
- 小中学校保健室にエアコンを設置すべき



たかはし まさよし
高橋政一
(市民クラブ)

質問 学校教育法第19条では、「経済的理由により修学困難と認められる学齢児童生徒に対して、市町村は、必要な支援を与えるなければならない」とされており。準要保護家庭に対しても、クラブ活動費、児童生徒会費、PTA会費を支給すべきではな

いか。
市長 準要保護に対する国の補助金の廃止に伴い、使い道を限定しない地方交付金に一般財源

質問

小、中学校保健室にエア

コンを設置すべきではないか。

教育委員長 普通教室への設置

は難しいとしても、児童生徒が体調を崩した時に静養する保健室には必要と考えており、関係部局と協議の上年次計画で設置を検討していく。



様々な問題に対し協議が行われた「問題行動等対策実行委員会」